

職場に残そう、労働運動！

国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA 班新聞

第77回地方大会開催①

9月9日(土)10時半〜 市民会館

前日の大雨被害の影響で開催も危ぶまれる中、地本内分会再編後、初の地方大会が無事開催されました。7分会と5職協の15人の代議員(内、当日2名欠席)で新しく構成され、運輸区統合分会からは、当班より飯高聡明さんと、竜崎好暢さん(当分会執行委員長)が出席しました。

議長選出



地本越川副委員長の開会あいさつのおと、千葉設備分会の三好享さん(千葉保線技術センター・59歳)が選出され、

職場の実態(定年退職者が増える中、技術継承が出来ない・・・等)をあいさつの中で述べました。三好さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

委員長あいさつ



地本加藤執行委員長から大きく①組織強化

拡大、②地域住民の足を守る運動、③生活上に向けた闘いと労働条件に向けた取り組み、④平和と民主主義を守る闘い、⑤運動の継承・・・といった喫緊の課題、当面する取り組みについて

の提起がありました。②では今夏、山形の山寺立石寺の1015段もある長い階段を上った際、そこを毎日郵便配達員が山頂近くのポストまで集配していることに感銘を受け、それこそがなくてはならない「公共」であることを確信したこと、それを自分たちに置き換え、あらためて鉄道の存在意義の大きさを感じたという印象深い話がありました。

「移動手段がそれしかない人が一人でもいる限り……」
来賓あいさつ
東日本・武田書記長
今年は4年ぶりに対面でのエリア大会を開催することが出来た。コロナ5類に移行したが、収束されたわけではなく、引き続き注意が必要だ。
様々な理由から組織のスリム化を行なった。各地本についても整備を進めていく。
若者たちは自分たちをどう見ているのか。



「職場に国労の仲間がいることでホッとしている」等々の青年加入者の声に自信を持って呼びかけを続けていく。いかに国労らしさを発揮し、労働条件を改善していけるか。HPなども活用し、アピールしていく。他、安全安定輸送について、公共交通について、年末手当獲得の闘い、政治情勢等も含めたあいさつがありました。

機関紙コンクール表彰

今年度は分会再編により、最終号を迎えた所、新たに発行を始めた所と、色々ありましたが、何はともあれ地本内での機関紙活動が途切れることなく継続されたことは喜ばしいことだと思います。

私たちの蘇我運輸区分会ニュースも終了しましたが、東日本、地本共に最優秀賞をいただき、新たにこの SOGA 班新聞へと引き継ぐことが出来ました。ありがとうございました。

- (以下、今年度受賞分会、他)
最優秀賞：蘇我運輸区分会
優秀賞：千葉運輸区分会
佐倉駅分会
新小岩保線分会
木更津統合分会
運輸協議会
佳作：新浦安分会
(新)津田沼駅分会
運輸区統合分会
蘇我運輸区班



☆ 今、各職場新聞をこれだけ発行しているのは、全国的にも千葉地本だけだと思います。この文化の継続を！！